

平成 28 年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	クスろ
事業名	釧路の魅力的な「人」との交流事業
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	<p>■「誰と会い、どう過ごす」～新しい観光スタイルの提案 近年、個人の旅行形態は多様化し、わたしたちはこれまで観光旅行の主な目的だった「名所」や「食」だけでなく、交流や体験に価値を見出すようになっていきます。(経済産業省 通称白書 2016 より) 今後、地域の観光においても、「交流」や「体験」が旅に付加価値を与える要素として重要度を増すのかもしれませんが。 釧路は名所や食の発信に注力する一方で、交流や体験に対するそれは活発とは言えず、まだまだ不十分であると考えます。 釧路の「人」を好きになってもらうことができれば、その「人」を再訪するリピーターが増え、人の繋がりが新たなビジネスや機会を創出する可能性も高まるのではないのでしょうか。 クスろは、釧路管内に住む魅力的な「人」を「クスろ人」として紹介し、釧路を訪れる人々がクスろ人に出会える場・機会を作り、その事業化を目指しています。</p> <p>■訪れた人を受け入れるまちづくり 釧路を訪れる人が満足し、そして再訪したいと思えるよう、私たち住民は釧路の「まち」を知り、それを発信できるようになることが必要と考えます。</p> <p>クスろは、上記の課題に対し、2014年から下記の取り組みを行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.クスろ港運営(2014年～):魅力的な人取材し、紹介するWEBサイト 2.会いに行けるイベントの実施(2015～):魅力的な人に実際に会える場づくり(釧路管内の地域住民向け) 3.市民ワークショップの実施(2014～):釧路の課題を共有し議論し合うワークショップ <p>■過去2年間の活動から見える成果と課題 <成果> - 釧路の中の人をつなげ、協力し合える関係を構築 WEBサイト「クスろ港」のコンテンツ「『ひと』めぐり」では、釧路管内で活躍する漁師、エゾシカハンター、作家、市民活動家などの</p>

魅力的な人「クスろ人」を20組以上紹介してきました。(現在も随時更新中)

また、過去4回開催した市民ワークショップは様々な職業、幅広い年齢層(20~60代)が集まる場となり、述べ120名の方々に参加いただくことができました。

WEBサイトやワークショップの運営以外にも、市民参加型のイベントを開催しています。昨年度開催したイベントでは2回で述べ300人以上を集客し、参加者からは「釧路の良さを知った(学生)」、「普段出会えない人との交流し、一緒に何か取り組みたくなった(30代主婦)」などの声をいただきました。

「クスろ港」のFacebookページは釧路管内に限らず道内の各地域(約2割)や道外(約3割)からも1600人以上の方々(2017年3月現在)に「いいね!」をいただいております、クスろそして釧路ファンの輪が全国に広がりつつあると感じています。

・若い世代を巻き込み、まちに興味をもってもらうキッカケづくり
小学校・高校・大学の授業でクスろの活動内容をお話しさせていただきました。

クスろに学生メンバーとして参画してくれる学生が増えたこと、お話しさせていただいた小学校の児童のみなさんが総合学習の一環としてクスろのイベントに参加いただいたことから、若い世代が自分の住むまちに興味を持つキッカケを作れたと感じています。

・メディアへの露出による知名度アップ

過去2年間、日本経済新聞、北海道新聞、釧路新聞、FMくしろ、webマガジン等のメディア各社に計50回ほど取り上げていただき、多方面から反響をいただいております。

また、これまでの活動が成果として認められ平成27度は社会的課題の解決に向けて取り組む全国の個人・団体を対象とした「YOUNG JAPAN ACTION」(住友生命主催)にて、数ある応募の中から奨励賞をいただくことができました。

今後も複数のWEBメディアにてライターとして、クスろそして釧路を広く発信する予定です。(北海道ラボ、地域手帖、いなかパイプ、宮崎てげてげ通信、丹波篠山まめつーしん等)

<課題>

・イベントやワークショップの参加者が釧路地域の人に偏っている
イベント、ワークショップ参加者の多くは釧路管内の人々であり、他地域からの人を取り込み、釧路の人々と繋げるためには、これまでとは異なる考え方が必要と考えています。

・WEBやSNSによる情報を享受できる層が現状広くない
釧路の情報発信が一部の層にしか届けられていない

	<p>クスろは、WEB、Facebook 等の SNS が中心とした情報発信を行っているため、それらのツールに明るくない層に対する訴求が必ずしも効果的に行えていないと感じます。</p> <p>WEB、SNS 以外のメディア（紙媒体、対面、訪問授業）でも釧路の魅力発信し、様々な世代や層を釧路ファンとして取り込みたいと考えています。</p>
事業目的	<p>■全国の人がクスろ人と出会う場の提供 釧路管内だけでなく、全国の人が「クスろ人」に出会う場と機会を提供し、釧路ファンとリピーターを増やします。</p> <p>■情報発信の裾野を広げる WEB、SNS 以外のメディア（紙媒体等）でも「クスろ人」の魅力と情報を発信し、「クスろ人」を通して見える釧路の魅力をも可能な限り多くの人に伝えます。</p>
事業概要	<p>今年度は以下を実施いたします。</p> <p>1. 「クスろ人」に会える宿泊型イベント「ひとめぐり TOUR」の開催 1泊2日の宿泊型イベントを夏と冬の2回開催します。 複数のクスろ人のフィールド（仕事場・店舗・釧路の自然など）に赴き、「クスろ人」と参加者が一緒に活動・交流する中で、「クスろ人」のみなさんにはご自身のバックグラウンドや活動に対する想いを語っていただきます。 イベントを宿泊型とすることで、より多くの「クスろ人」と一度に出会えることや、交流や体験に多くの時間を割けること、釧路管内以外の地域からの参加者も募りやすい等のメリットがあります。 （ツアー中の交通手段はクスろが手配し支払いを行います。宿の斡旋は行いますが、その手配と支払いは参加者各自が行い、飲食費等も実費相当分を参加者各自が支払いを行います。） ※株式会社 JTB 北海道監修のもとクスろが計画</p> <p>2. クスろ人を紹介するフリーペーパー「ひとめぐり帖」の発刊 WEB サイトのコンテンツ「ひとめぐり」で紹介するクスろ人の記事を、フリーペーパー「ひとめぐり帖」として発刊します。 「ひとめぐり帖」はフリーペーパーとして市内外の店舗・観光施設・教育機関に頒布し、より多くの人に手にとっていただくことを目指します。</p>

<p>事業展開</p>	<p>【2016年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4-6月「ひとめぐり TOUR」、「ひとめぐり帖」企画 ・7月 「ひとめぐり TOUR 夏編」開催 ・8月 「ひとめぐり帖」第1号発刊 ・9月 「ひとめぐり帖」第2号発刊 ・10月 「ひとめぐり帖」第3号発刊 ・11月 「ひとめぐり帖」第4号発刊 <p>【2017年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月 「ひとめぐり TOUR 冬編」開催 「ひとめぐり帖」第5号発刊 ・2月 「ひとめぐり帖」第6号発刊 ・3月 「ひとめぐり帖」第7号発刊
<p>成果目標の達成状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宿泊型のイベント(「ひとめぐり TOUR」)を計2回開催 参加者のうち夏編では4名、冬編では5名が釧路市外からの参加となり、参加者の半数を占めた。(道外7名、道内2名) 釧路市民の参加人数も述べ40名(スタッフ、クスろ人を含む)となり、釧路内外に釧路の魅力を発信することができた。 2. フリーペーパー「ひとめぐり帖」を計7号発刊 市内外(道外含む)合わせて60か所での頒布を実現した。
<p>波及効果の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路の知名度と来訪意欲の向上 常時80~90のフリーペーパーを扱う世界で唯一のフリーペーパー専門店である「ONLY FREE PAPER(東京、岡山、栃木)」にて、「ひとめぐり帖」の頒布を実現した。 ・ツアー参加者から釧路リピーターが出現 ひとめぐり TOURの道外参加者のうち、釧路と東京で2地域居住を始めた方が1名、里帰り頻度を増やした(年2回程度から6回以上に増加)方が1名。また、ツアーのアンケート結果においては、全参加者が「また参加したい」と回答しており、釧路の魅力を発信できたと考えている。 ・市民同士の繋がりの増加 「ひとめぐり帖」全7号(1号につき1,000部)の頒布により、釧路内外の人々に「クスろ人」や釧路を知る機会を提供できた。 ・市民が釧路の魅力を再発見し~「おもてなし」意識への訴求 別添ひとめぐりツアー参加者アンケート、フォトブック感想を参照。
<p>実施体制</p>	<p>クスろが主体となり、行政・市民・各団体に協力いただく。 ツアーやイベントに関わるクスろ人との綿密に計画を立て・協働する体制を重要視する。</p>
<p>連携した市担当課</p>	<p>無 ・ ㊦ (観光振興室)</p>
<p>連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの適正なアドバイス ・様々な関係機関との取り次ぎ ・観光客が往来する駅や空港、イベント会場などでのパンフレット頒布

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	400,000 円	輝くまちづくり交付金
自己資本	194,788 円	
ひとめぐりツアー参加費	58,000 円	ひとめぐりツアーvol.2:12名×2,000円=24,000円 ひとめぐりツアーvol.3:14名(2,500円×12名、 2,000円×2名(2日目のみ参加))=34,000円
合計	652,788 円	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	170,564 円	『「ひと」めぐり帖』全7号印刷(1000部×7号) ひとめぐりツアー フォトブック印刷
デザイン依頼費	151,200 円	フリーペーパーの紙面デザイン制作
交通費	90,000 円	・企画準備(スタッフミーティング、クスろ人との打ち合わせなど)、イベント当日運営に伴う駐車場代など ・ひとめぐりツアー参加者の交通費補助×2回(貸切バス2日分手配)
会場費	6,640 円	・「ひと」めぐりツアー冬編懇親会会場費 ・カヌー体験費
謝礼	40,000 円	「ひと」めぐりツアー協力者(クスろ人舎)講習料
消耗品費	12,032 円	ひとめぐりツアーに開催に伴う消耗品
役務費	33,981 円	・支払い手数料 ・イベント時損害保険料 ・『「ひと」めぐり帖』、ひとめぐりツアー フォトブック発送料等
小計	504,417 円	
対象外経費		
飲食費	58,675 円	ひとめぐりツアー開催に伴う飲食費
交通費	4,956 円	・ツアー使用スタッフ車駐車場代 ・ツアー参加者送迎時、クスろ人打ち合わせ時等のガソリン代 ・銭湯移動時タクシー代等
使用料	84,740 円	カヌー体験費、駐車場代
小計	148,371 円	
合計	652,788 円	